

地域公共交通検討協議会

日 時：令和5年10月13日（金）14時00分～

場 所：筑紫野市議会 第1委員会室

出席者：赤司泰一座長、辻本副座長、八尋副座長、田中委員、横尾委員、上村委員、高原委員、西村委員、原口委員、白石委員、宮崎委員、山本委員、城委員、古賀委員、坂口委員、段下委員、前田委員、榎木委員、佐々木委員、吉村委員、赤司祥一委員、春口委員
事務局 荒金局長、大久保課長、阿部主査
白石委員欠席

《議題》

1. 本日の流れ（14時00分～）

(高原委員)要望する施策に費用がいくらかかるのか、財政的に実現可能なのかを含めて議会として議論する必要があるのでは。

(赤司座長)まずは策定される計画に対して、市民のニーズを踏まえた議会としての要望をだすことを目的としている。財政面の検証は今後必要になってくると思うが、現時点では考えていない。

(上村委員)現時点では要望の提出、いずれかの時点で費用面の検証がなされるものと理解しておく。

2. ワークショップ・・・【別紙1】（14時10分～）

3. 各グループ意見発表（15時00分～）

4. 提言書の様式について【別紙2】

(赤司座長)今後、計画に向けて財政の裏付けが必要、実行性があるのかを選別していく。

◆ 終了予定 15時30分

次回開催日程 令和5年10月24日（火）13時30分～

地域公共交通検討 ワークショップグループ

【二日市・山口地区】(7名) 第2委員会室

上村委員、高原委員、白石委員、山本委員(司会)、段下委員、赤司(祥)委員(発表者)、春口委員(記録)

【二日市東・御笠地区】(4名) 応接室1

八尋副座長、坂口委員(司会)、城委員(発表者)、前田委員(記録)

【筑紫・山家地区】(4名) 議員図書室

赤司座長、原口委員(司会)、古賀委員(記録)、吉村委員(発表者)

【筑紫南地区】(7名) 第3委員会室

辻本副座長、田中委員、横尾委員、西村委員、宮崎委員(司会)、榎木委員(記録)、佐々木委員(発表者)

【二日市・山口地域】

(実態)

運行ルート

- ・大門、塔原、武蔵、北杉塚、星ヶ丘、二日市北のバスがない
- ・コミュニティバスでは戻れない(逆ルートが必要)
- ・病院、買い物、公民館に行きやすいルートが確保されていない(利便性が向上すれば高齢者の免許返納へもつながる)

運行ダイヤ

- ・西鉄・JRまでの本数が少なく、ゆめタウンまで行けない
- ・運行本数が少なく、利用できない

乗降場所

- ・バス停まで遠い(大門、塔原、武蔵、北杉塚)

新たな取組み

- ・子どもたちが利用しやすいようにバス停の表示物に「ルビ」をふる
- ・山部を走れる車両の導入

(地域の課題)

課題①
公共交通不便地域の解消

課題②
効率的・魅力ある公共交通網の形成

課題③
具体的ニーズに対応した公共交通の充実

課題④
利用環境の整備・改善

(対策)

【地域・事業者・行政の協働】

- ・デマンドタクシー、乗合せタクシーの導入
- ・民間との連携、民間バスの活用(ベレッサ、幼稚園、保育所、大観荘、代行タクシー、葬儀社)
- ・タクシーアプリの導入

【持続可能な公共交通の実現】

- ・行動計画の作成(MaaSの活用)
- ・無料券の配付

【快適な利用環境の整備】

- ・バス停の表示物にルビをふる

(実態)

(対策)

【二日市東・御笠地域】

(実態)

運行ルート

- ・最寄りの駅(JR天拝山駅、西鉄朝倉街道駅、五条駅)に行くバスがない。通勤・通学で利用できない。
- ・イオンモールへ行けない
- ・目的地まで時間がかかる
(阿志岐の自宅から市役所⇒65分、
吉木から筑紫病院⇒73分 など)

運行ダイヤ

- ・バスの到着時刻が遅れる
- ・高雄交差点など朝夕渋滞
- ・夕方の便が少ない(御笠自治会バス)

乗降場所

- ・市街でもバス停まで距離がある。
(交通空白地域の存在)

利用者

- ・空車の時間帯・区間がある

(地域の課題)

課題①
公共交通不便地域の解消

課題②
効率的・魅力ある公共交通網の形成

課題③
具体的ニーズに対応した公共交通の充実

課題④
利用環境の整備・改善

課題⑤
公共交通の利用促進

(対策)

【地域・事業者・行政の協働】

- ・時間帯によりデマンドバスの導入
(電話又はアプリで予約)
- ・登録制のデマンドバスの導入
- ・乗降場所を決めた乗合いタクシー

【快適な移動の確保】

- ・ルートの見直し・整備
- ・コミュニティバスのルートの見直し
(イオンモールを含むルート)
- ・位置情報検索サービスの提供
- ・太宰府市との協議(五条駅へのルート確保)
- ・渋滞する交差点に右折レーン、信号の整備を県へ要請

【持続可能な公共交通の実現】

- ・市負担によるタクシー代半額制
- ・年間バスポート(割引)の配付

(実態)

[Blank area for additional real-world status notes]

(対策)

[Blank area for additional countermeasure notes]

【筑紫・山家地域】

(実態)

運行ルート

- ・出発地と目的地が限定されている
- ・西鉄バス営業路線が停止されている
- ・運送法の影響で公営路線がひけない
- ・ルートの外回り・内回りと支線のルート整備を
- ・筑紫駅から南方面へのルート整備を
- ・原田、美しが丘、光が丘のルート整備を
- ・バス停や駅までの距離が遠い
- ・ドアtoドアができれば

高齢者対策

- ・免許返納後の移動手段がない
- ・高齢者の通院
- ・高齢化の進む団地へのバスの乗り入れ

筑豊本線

- ・筑豊本線の空列車

(地域の課題)

課題①
公共交通不便地域の解消

課題②
効率的・魅力ある公共交通網の形成

課題③
具体的ニーズに対応した公共交通の充実

課題⑤
公共交通の利用促進

(対策)

【地域・事業者・行政の協働】

- ・デマンドバスの導入(西鉄・タクシー会社と連携)
- ・筑前町との連携

【快適な移動の確保】

- ・ルートの見直し・整備
- ・地域性に沿ったルートの確立

【持続可能な公共交通の実現】

- ・高齢者・免許返納者への割引、利用券の補助(タクシーチケット、バス割引の拡充)
- ・筑豊本線の再活用、見直し
(利用者の調査、研究)

(実態)

(対策)

【筑紫南地域】

(実態)

運行ルート

- ・筑紫原田線開通によるコミュニティバスの路線見直しの必要性
- ・「つくし号」がJR原田駅にこない
- ・美しが丘南から二日市まで乗り継ぎなくいけるように
- ・馬市までバス路線が通っていない
- ・目的別に多様な要望に応えてほしい(病院、コミセンコース、買い物ルート)

運行ダイヤ

- ・カミーリヤを使用した後(約1時間)すぐにバスが来ない(改定前は良かった。)
- ・路線バス・カミーリヤバスの便数が少ない
- ・日中、美しが丘南区内からJR原田駅、西鉄筑紫駅までのバスがない

乗降場所

- ・坂道が多くバス停までの移動がづらい
- ・馬市から最寄りの電車駅まで1キロ以上
- ・バス停にベンチと屋根がない

(地域の課題)

課題①
公共交通不便地域の解消

課題②
効率的・魅力ある公共交通網の形成

課題③
具体的ニーズに対応した公共交通の充実

課題④
利用環境の整備・改善

(対策)

【地域・事業者・行政の協働】

- ・社会福祉協議会・スイミングクラブなどのバスの活用

【快適な移動の確保】

- ・地域のくらしを支える公共交通ネットワークの形成(馬市・西小田)
- ・コミュニティバスの新路線(美しが丘北)の設定
- ・コミュニティバス・カミーリヤバスの一元化
- ・筑紫南地区から二日市へ1本で行ける交通手段の設定
- ・幹線と支線の連携・結合を充実させる
- ・ダイヤの見直し、充実

【快適な利用環境の整備】

- ・バス停留所のベンチ・屋根の新設

(実態)

(対策)

地域公共交通検討協議会【地域懇談会参加レポート】

| | |
|------------------------------|---|
| 地区 | 二日市コミュニティ |
| 開催日時 | 令和5年 9月13日（水） 14時～16時 |
| 出席委員名 | 山本、春口、段下 |
| 市民参加者状況 (人数・男女比等) | 二日市コミュニティの区長さんが中心に参加していたため、普段は車で移動をしており、公共交通機関はあまり利用していない方が多かった。 |
| 市民の意見 | <p>ワーク②【問題点】※地域公共交通を利用する理由：免許証を持っていない（若者・高齢者）・飲酒 ※地域公共交通を利用しない理由：買い物など荷物がある・市内で多くのところに行く・車のほうが十分に動ける・自分の予定など時間が合わない・バス停が遠い、近くにない</p> <p>ワーク③【改善策】※どうすれば公共交通を利用しやすくなるか：・ルートの見直し（武蔵寺上の方は湯町バス停までタクシー利用）・市役所行き伸ばす路線確保・コミュニティバスの逆ルート・途中下車の利用・バス亭に椅子設置・高齢者が病院、買い物に安心していけるように・バス料金などの負担軽減・中央通り商店街にバス停がほしい・西鉄二日市駅にコミュニティバスのバス停がほしい・買い物宅配サービス・デマンドタクシー（必要な時間に必要な場所へ）・小型バスで狭いところでも行けるようにする・福祉バスからコミュニティバスへ転換・イベント時の臨時バス・タクシーがなかなか来ないので若い人がタクシー運転できるように免許証取得西が補助を・自動運転システムを活用。</p> <p>ワーク④【地域でできる取り組み】公共交通を維持するために出来ること：・自家用車で近所の方の乗り合い（運転手の確保、助け合い、ただし事故保険等の補償が必要）・地域公共交通デーを作る。</p> |
| 総括 | 本日集われた方は市民の方1人を除いて区長さんが中心だったため、皆さん車を運転する方ばかりで、市民の方から聞いた意見を代弁してくださっていた。 |

提出締切：懇談会開催日から7日後まで

地域公共交通検討協議会【地域懇談会参加レポート】

| | |
|----------------------|--|
| 地区 | 山口地区 |
| 開催日時 | 令和5年 9月 26日(火) 18時 ~ 20時 |
| 出席委員名 | 上村和男、高原良視、赤司祥一 |
| 市民参加者状況 (人数・男女比等) | 40名(男性23名、女性17名) ※他、筑紫野市企画制作部5名、委託先企業スタッフ5名 |
| 市民の意見 | <p>■公共交通を利用しない理由 荷物が重い、車の方が自由がある&雨天も便利、本数が少ない、近くにバス停無い、料金が安い、荷物が重いと乗れない、障害がある方に優しくない仕様</p> <p>■どのようにすれば公共交通を利用するようになる？ 朝倉街道駅での乗継が便利になれば(朝倉街道駅行きが欲しい)、街道のようにニーズがある先への100円バスができれば使う(安くなったりタダになれば)、どこでも乗れてどこでも降りれるバスがあれば、バスや電車で自転車を持ち込めたら、朝倉街道駅に駐車場がない(西鉄ストア高い)⇒イオンに止めて歩くがしんどい、市役所に行けるバスがあれば、バス無料よりはタクシー割引の方が良い、病院や買物の巡回バスがあれば、小型化して小さな道にも入っててくれれば、ウーバーがあれば</p> <p>■課題 どれに乗ったらどこに行けるのかが分かりにくい、黄色のパンフレット誰も知らない、西鉄バスしか来ないからそもそも見ない、カミーリヤバスのルールが難しい(乗り降りどちらかは公共施設)</p> <p>■地域でできる取組は？ 全住民の自治会費500円上げても1000円上げても理想コースを通る自治会バスが実現するなら払う、地域の人が乗せてあげる乗り合い、自治会で皆がバスに乗る日(曜日)を作る、月に10回バスに乗った人に賞品(バス利用コンテスト)、免許書75歳以上返納を推進、無料チケットや無料ICカード、ポイントカード、分かりやすい時刻表を配る</p> <p>■市への要望 現在第七次総合計画作成中だと思うが、意見集約結果をどうやって地域住民に知らせていくのか？お金を使ってもいいから今後の在り方やビジョンを明確に伝えてほしい。</p> |
| 総括 | <p>■コンサルの方の所感(他のエリアとの比較を兼ねたまとめ) ・乗りたい時に乗れるもの(需要の穴埋め)が必要なエリア。よく使う所によく回すような方向性。 ・免許返納を思い切った方が良いエリアかもしれない。 ・イベント化し、競い合って楽しむ取り組みを導入すべき。 ・周知徹底、まだまだどこを走っているか知らない人もいることの解消が必要。</p> <p>■出席委員総括 4班共に非常に活発に意見交換をされておりました。議員ワークショップでは出なかったこの山口地区特有の意見としては、とにかく朝倉街道駅への公共交通をアクセスの良さや金額面含めて充実させてほしいという点でした。理想のコースが実現するなら、この地域住民の自治会費を500円でも1,000円でも上げてもらって構わないという意見もありました。また、既存のバスの利用促進に向けて、認知度の向上が必要との意見や、月10回乗ったら景品、ポイントカードを作る、75歳以上は積極的に返納という意見など、利用促進案が多く出た点も印象的でした。</p> |

提出締切：懇談会開催日から7日後まで

地域公共交通検討協議会【地域懇談会参加レポート】

| | |
|------------------------------|---|
| 地区 | 二日市東地域 二日市東コミュニティセンター |
| 開催日時 | 令和5年 9月 4日（月） 15時30～ |
| 出席委員名 | 八尋 城 前田 坂口 |
| 市民参加者状況 (人数・男女比等) | 男性 15名 女性 3名 計18名 |
| 市民の意見 | <p>【利用しない理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停まで遠い・荷物が多い・便が少ない・ダイヤの乱れ ・ベビーカーがあると不便・自家用車が便利 <p>【利用する理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲酒の時・市街に行くとき <p>【利用しやすくなるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回数券、キャッシュレス・料金を安く・ ・子ども連れでも利用しやすい環境 ・ルート、バス停を増やす・遅延情報の共有 ・デマンド交通 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街道駅西口設置・天拝山駅エレベーター設置 |
| 総括 | <p>二日市東地域では、全体的に利便性の良い地域で、生活圏内の移動（買物、病院、公共施設）では利用が少なかった。</p> <p>地域で公共交通を維持するためには、利便性の良さや、バスツアーなど企画し、市の観光スポットをアピールする。市民にもっと周知をする。今後、免許返納した時に利用しやすい、魅力ある公共交通であってほしい。</p> |

提出締切:懇談会開催日から7日後まで

地域公共交通検討協議会【地域懇談会参加レポート】

| | |
|----------------------|---|
| 地区 | 御笠コミセン |
| 開催日時 | 令和5年9月6日（水） 19時～21時 |
| 出席委員名 | 八尋一男議員、坂口勝彦議員、城健二議員、前田倫宏議員 |
| 市民参加者状況 (人数・男女比等) | 総数24名（男性18名、女性6名） |
| 市民の意見 | <p>【問題点】 公共交通を利用する理由 ・近くに自治会バスのバス停がある ・運転免許証を返納したから 等。</p> <p>公共交通を利用しない理由 ・自家用車での移動が便利 ・運行時間が合わない 等。</p> <p>【改善策】 ・デマンド交通、乗合いタクシーを利用する ・バス停の位置、ダイヤの見直し 等。</p> <p>【地域でできる取組み】 ・自治会バスの運転手確保に住民が協力する ・バスにのるためのキャンペーン(PR)を実施する 等。</p> |
| 総括 | <p>24名の地元住民の参加の元、御笠自治会バスを運行している地域として、この自治会バスを存続させていくため、それぞれが大変前向きで活発な意見が飛び交った、ワークショップであった。</p> <p>総体的に公共交通がいくら便利でより良くなっても、住人自身が公共交通を知らなければ活性化しない。よって、公共交通の良さを住民全体で、もっと知らしめることが大切であるという意見が多かった。</p> |

提出締切：懇談会開催日から7日後まで

地域公共交通検討協議会【地域懇談会参加レポート】

| | |
|------------------------------|---|
| 地区 | 筑紫地区 |
| 開催日時 | 令和5年9月28日（木） 16時 ～ 18時 |
| 出席委員名 | 赤司議員、古賀議員、吉村議員 |
| 市民参加者状況 (人数・男女比等) | 26名 |
| 市民の意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・行きたいところに行けない。 ・行きたい時間に使えない。 ・本数が少ない。本数が多ければ利用する。 ・自宅付近にバス停がない。 ・急行電車と接続してほしい。接続が不便な時間帯がある。 ・料金を下げてほしい。無料にしてほしい。 ・デマンドバスにしてほしい。 ・カミーリヤバスを住宅街に通す。 ・小型化して便数を増やしてほしい。 ・夜も運行してほしい。 ・バス停がわかりづらい(駅やスーパーの近くにしてほしい)。 ・コミバスは有料でもいい、便利にしてほしい(乗降り自由に、上り下りがほしい)。 ・カミーリヤバスとコミバスを一元化してほしい。 ・ポイント制を導入してほしい。 |
| 総括 | <p>ワークショップは、地域交通の問題点、改善策、地域でできる取り組みをグループごとにまとめられていきました。筑紫地区では、概ねの意見として、本当に困っている地域や免許証を返納した人たちの声を聞かないと改善は見えないのではないかという感じでした。また、事前に今回の懇談会の周知はどのように行われたのかという声もありました。地区別懇談会用資料は参考になりました。</p> |

提出締切：懇談会開催日から7日後まで

地域公共交通検討協議会【地域懇談会参加レポート】

| | |
|----------------------|--|
| 地区 | 山家地区 |
| 開催日時 | 令和5年 9月 15日（金） 18時～20時 |
| 出席委員名 | 西村 吉村 |
| 市民参加者状況 (人数・男女比等) | 約30人 男性8：女性2 |
| 市民の意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ JR山家線の出発時間より西鉄バスの到着が2分遅く困っている。 西鉄バスにダイヤ改正を依頼したい。 ・ バスに自転車を積めたら、そこから自由に移動ができる。帰り時間も気にせずに自転車でも帰れる。 ・ 公共交通機関の接続が悪い。朝倉街道に直通のバスがあったが廃止になった。小型の乗り合いバスでもよいので通してほしい。 ・ イオン、市役所へは既存のバスを利用し原田方面に乗り合いタクシーが欲しい。 ・ 便数を増やしてほしい。車いすの方も乗れるようなりフト付きバスがあると便利。 ・ 中学生がギリギリ始業時間に間に合わない。ダイヤ改正をしてほしい。 ・ 長崎街道などの歴史や山家の良さをアピールして、バスの集客をしてはどうか。 |
| 総括 | <p>山家地区では、約30名の方々が参加。4班に分かれ、委託業者の方が司会進行をしたためスムーズに話が出来ていた。現在の問題点など多く出されたが、ワーク4の「公共交通を維持するために地域が出来ることは」になると意見が少なくなり問題が残った。地域内住民の課題は共通理解しているようで、要望事項も同じものが多かったように思える。</p> <p>今回参加された方々は区の役員さんや世話人さんだと思うが、その参加された方が、公共交通をどう使いたいかという事は議論できた。しかし、利用できていない人への利用促進や新しい利用の仕方まで議論できたのかという点には疑問が残る。</p> |

提出締切：懇談会開催日から7日後まで

地域公共交通検討協議会【地域懇談会参加レポート】

| | |
|------------------------------|---|
| 地区 | 筑紫南地区 |
| 開催日時 | 令和5年 9月23日(土) 10時～ 12時 |
| 出席委員名 | 横尾議院、辻本議員、田中議員、西村議員 宮崎議員、檜木議員、佐々木 |
| 市民参加者状況 (人数・男女比等) | 20名(男性 12名 女性8名) |
| 市民の意見 | <ul style="list-style-type: none">・カミーリアバス、福祉バス、西鉄バスの区分けによる不便さは市側の都合であり、市民から見れば同じバス路線である。・狭い道路にも対応可能な小型バスの導入が望ましい。・市民への広報活動をもっと積極的に行い、利用促進を図る必要がある。・商業施設や病院等の企業とのタイアップを行い、運賃だけでは支えられない分を補填できないか。・ここ(商業施設、駅、市役所)に行くには、「このルートが便利」等の事例集があると利用しやすい。 |
| 総括 | <ul style="list-style-type: none">・丘陵地に居住されている方が多く、高齢化も進んでいる地域であるため、ワークショップでは、活発な意見交換がなされており、盛り上がりを感じた。・他の地域と比較して、運転免許証及び自家用車の保有率が高く、それに伴う自家用車への依存率が高い地域であるため、利便性(運航ルート、乗り継ぎ、鉄道との連携)の向上を目的とした見直しを行う必要がある。 |

提出締切：懇談会開催日から7日後まで

【二日市・山口地域】

(実態)

運行ルート

- ・大門、塔原、武蔵、北杉塚、星ヶ丘、二日市北のバスがない
- ・コミュニティバスでは戻れない (逆ルートが必要)
- ・病院、買い物、公民館に行きやすいルートが確保されていない (利便性が向上すれば高齢者の免許返納へもつながる)

運行ダイヤ

- ・西鉄・JRまでの本数が少なく、ゆめタウンまで行けない
- ・運行本数が少なく、利用できない

乗降場所

- ・バス停まで遠い (大門、塔原、武蔵、北杉塚) **新設**

新たな取組み

- ・子どもたちが利用しやすいようにバス停の表示物に「ルビ」をふる
- ・山部を走れる車両の導入

(地域の課題)

課題①
公共交通不便地域の解消

課題②
効率的・魅力ある公共交通網の形成

課題③
具体的ニーズに対応した公共交通の充実

課題④
利用環境の整備・改善

課題⑤
公共交通の利用促進

(対策)

【地域・事業者・行政の協働】

- ・デマンドタクシー、乗合せタクシーの導入
- ・民間との連携、民間バスの活用 (ベレッサ、幼稚園、保育所、大観荘、代行タクシー、葬儀社)
- ・タクシーアプリの導入

【持続可能な公共交通の実現】

- ・行動計画の作成(MaaSの活用)
- ・無料券の配付

【快適な利用環境の整備】

- ・バス停の表示物にルビをふる

・大塚府との協議

(対策)

(DAY)

- ・地域公共交通デー
- ・運賃を安くする (バスを使うイベント開催)
- ・乗り継ぎや時刻表の見やすさ
- ・観光バスをつくる
- ・シャトルバス (西鉄→カミリーヤ、山口→朝倉街道)
- ・料金を上げると乗りやすくなる
- ・カミーソヤバスの自由化 (見直し) (コミュニティバス 下乗の 利用しやすい)
- ・夏休み企画 (こどもが来る)
- ・免許返納案内 12時の対比
- ・乗車日曜日を自治会に決める (見守り、コミュニケーション)
- ・バスの小型化
- ・ワゴン車の乗り合わせ

(実態)

- ・食料店がある時は利用している
- ・高齢の犬に運転させたくない
- ・中央商店街 → 西鉄二日市がない
- ・二日市北 → 市役所がない
- ・ワゴン車が通らない
- ・値段が高くなるといいのでカミーソヤ号の活用してほしい
- ・手荷物が多い
- ・車を手放したときの便利さの対比
- ・山口 → 市役所
- ・塔原 → 市役所、休セル、駅前 (校区外なので)
- ・自転車のせれせれ、リフト付車いす

・山口 → 街道駅

・パンフレットの周知

・筑紫、桜台 → カミリーヤ

・時刻表の見やすさ、分かりやすさ

【二日市東・御笠地域】

(実態)

運行ルート

- ・最寄りの駅(JR天拝山駅、西鉄朝倉街道駅、五条駅)に行くバスがない。通勤・通学で利用できない。
- ・イオンモールへ行けない
- ・目的地まで時間がかかる
(阿志岐の自宅から市役所⇒65分、
吉木から筑紫病院⇒73分 など)

運行ダイヤ

- ・バスの到着時刻が遅れる
- ・高雄交差点など朝夕渋滞
- ・夕方の便が少ない(御笠自治会バス)

乗降場所

- ・市街でもバス停まで距離がある。
(交通空白地域の存在)

利用者

空車の時間帯・区間がある

(地域の課題)

- 課題①
公共交通不便地域の解消
- 課題②
効率的・魅力ある公共交通網の形成
- 課題③
具体的ニーズに対応した公共交通の充実
- 課題④
利用環境の整備・改善
- 課題⑤
公共交通の利用促進

(対策)

【地域・事業者・行政の協働】

- ・時間帯によりデマンドバスの導入
(電話又はアプリで予約)
- ・登録制のデマンドバスの導入
- ・乗降場所を決めた乗合いタクシー

【快適な移動の確保】

- ・ルートの見直し・整備
- ・コミュニティバスのルートの見直し
(イオンモールを含むルート)
- ・位置情報検索サービスの提供
- ・太宰府市との協議(五条駅へのルート確保)
- ・渋滞する交差点に右折レーン、信号の整備を県へ要請

【持続可能な公共交通の実現】

- ・市負担によるタクシー代半額制
- ・年間バスポート(割引)の配付

(実態)

二日市東

- ・バス行が不便、荷物が多く不便
- ・便が少ない、目次利用が便利
- ・ダイヤの乱れ

御笠

- ・自家用車での移動が便利
- ・運行時間が合わない
- ・乗り継ぎも知らない

(対策)

二日市東

- ・バス停、ルート、便を増やす
- ・経路情報の共有
- ・デマンド交通
- ・利便性向上(回送券、キャンセル料割引、子ども車でも利用しやすい環境)
- その他
- ・御笠駅西口設置、天拝山駅エレベーター設置

御笠

- ・デマンド交通、乗合い、タクシーと利用する
- ・バス停の位置、ダイヤの見直し
- ・キャンペーン(PR)を実施する
- ・カニッパバスもコミュニティバスへ
(75歳以上のカニッパと利用が無料)

【筑紫・山家地域】

(実態)

運行ルート

- ・出発地と目的地が限定されている
- ・西鉄バス営業路線が停止されている
- ・運送法の影響で公営路線がひけない
- ・ルートの外回り・内回りと支線のルート整備を
- ・筑紫駅から南方面へのルート整備を
- ・原田、美しが丘、光が丘のルート整備を
- ・バス停や駅までの距離が遠い
- ・ドアtoドアができれば

高齢者対策

- ・免許返納後の移動手段がない
- ・高齢者の通院
- ・高齢化の進む団地へのバスの乗り入れ

筑豊本線

- ・筑豊本線の空列車

(地域の課題)

課題①
公共交通不便地域の解消

課題②
効率的・魅力ある公共交通網の形成

課題③
具体的ニーズに対応した公共交通の充実

課題⑤
公共交通の利用促進

(対策)

【地域・事業者・行政の協働】

- ・デマンドバスの導入(西鉄・タクシー会社と連携)
- ・筑前町との連携

【快適な移動の確保】

- ・ルートの見直し・整備
- ・地域性に沿ったルートの確立

【持続可能な公共交通の実現】

- ・高齢者・免許返納者への割引、利用券の補助(タクシーチケット、バス割引の拡充)
- ・筑豊本線の再活用、見直し(利用者の調査、研究)

(実態)

山家
JR筑豊線と筑紫町
西鉄バスと到着地が遠く
困っている。

本数を増やしたい

本数に困っている地域は
免許返納を返納した
人たちの意見で改善を
改善してほしい。

行かない所は行かない
夜は運行がない

(対策)

・ダイヤの見直し
・本数を増やす
・小型化のバスにしたい
・J-バスを増やす

【筑紫南地域】

(実態)

運行ルート

- ・筑紫原田線開通によるコミュニティバスの路線見直しの必要性
- ・「つくし号」がJR原田駅にこない
- ・美しが丘南から二日市まで乗り継ぎなくいけるように
- ・馬市までバス路線が通っていない
- ・目的別に多様な要望に応じてほしい(病院、コミセンコース、買い物ルート)

運行ダイヤ

- ・カミーリヤを使用した後(約1時間)すぐにバスが来ない(改定前は良かった。)
- ・路線バス・カミーリヤバスの便数が少ない
- ・日中、美しが丘南区内からJR原田駅、西鉄筑紫駅までのバスがない

乗降場所

- ・坂道が多くバス停までの移動がづらい
- ・馬市から最寄りの電車駅まで1キロ以上
- ・バス停にベンチと屋根がない

(地域の課題)

- 課題①
公共交通不便地域の解消
- 課題②
効率的・魅力ある公共交通網の形成
- 課題③
具体的ニーズに対応した公共交通の充実
- 課題④
利用環境の整備・改善

(対策)

- 【地域・事業者・行政の協働】
 - ・社会福祉協議会・スイミングクラブなどのバスの活用
- 【快適な移動の確保】
 - ・地域のくらしを支える公共交通ネットワークの形成(馬市・西小田)
 - ・コミュニティバスの新路線(美しが丘北)の設定
 - ・コミュニティバス・カミーリヤバスの一元化
 - ・筑紫南地区から二日市へ1本で行ける交通手段の設定
 - ・幹線と支線の連携・結合を充実させる
 - ・ダイヤの見直し、充実
- 【快適な利用環境の整備】
 - ・バス停留所のベンチ・屋根の新設

(実態)

- ・市民が利用しやすいバス路線はない。(西鉄・カミーリヤバス通っているが)
- ・狭い道路にミニバス型バスの導入が望ましい。(馬市・西小田区)
- ・広報活動を積極的に利用して市民が利用しやすいように
- ・このルートが便利なので定例集が利用しやすい
- ・運賃を下げたい(カミーリヤ)

(対策)

- ・各公民館・自治会・ミニバス等の導入を図る(ミニバス)
- ・バスで行くのが困難な人々を、乗車券の購入を促す。
- ・ダイヤを調整し定例集を発行し市民が利用しやすい。

令和5年 月 日

筑紫野市長

平 井 一 三 様

地域公共交通計画に関する提言書

筑紫野市議会議長 赤 司 泰 一

提言書

地域公共交通計画について

※文書を挿入します。

令和5年 月 日

筑紫野市議会議長 赤 司 泰 一

目指す公共交通の将来像

目標① 地域・事業者・行政の協働

- ・ デマンド型交通の導入
- ・ 民間事業者等の車両の活用
- ・ 近隣市との連携

目標② 快適な移動の確保

- ・ 地域性・市民ニーズに沿ったルートの整備
- ・ 幹線と支線の連携・結合の充実
- ・ バスの位置情報の提供、渋滞対策

目標③ 持続可能な公共交通の実現

- ・ 利用促進につながる施策の実施(割引券の配付等)
- ・ MaaS等を活用した利用者実態の把握、行動計画の作成

目標④ 快適な利用環境の整備

- ・ バス停留所のベンチ・屋根の新設
- ・ バス停留所の表示物にルビをふる



添付資料

【二日市・山口地域】

(実態)

運行ルート

- ・大門、塔原、武蔵、北杉塚、星ヶ丘、二日市北のバスがない
- ・コミュニティバスでは戻れない
(逆ルートが必要)
- ・病院、買い物、公民館に行きやすいルートが確保されていない
(利便性が向上すれば高齢者の免許返納へもつながる)

運行ダイヤ

- ・西鉄・JRまでの本数が少なく、ゆめタウンまで行けない
- ・運行本数が少なく、利用できない

乗降場所

- ・バス停まで遠い
(大門、塔原、武蔵、北杉塚)

新たな取組み

- ・子どもたちが利用しやすいようにバス停の表示物に「ルビ」をふる
- ・山部を走れる車両の導入

(地域の課題)

課題①

公共交通不便地域の解消

課題②

効率的・魅力ある公共交通網の形成

課題③

具体的ニーズに対応した公共交通の充実

課題④

利用環境の整備・改善

(対策)

【地域・事業者・行政の協働】

- ・デマンドタクシー、乗合せタクシーの導入
- ・民間との連携、民間バスの活用
(ベレッサ、幼稚園、保育所、大観荘、代行タクシー、葬儀社)
- ・タクシーアプリの導入

【持続可能な公共交通の実現】

- ・行動計画の作成(MaaSの活用)
- ・無料券の配付

【快適な利用環境の整備】

- ・バス停の表示物にルビをふる

【二日市東・御笠地域】

(実態)

運行ルート

- ・最寄りの駅(JR天拝山駅、西鉄朝倉街道駅、五条駅)に行くバスがない。通勤・通学で利用できない。
- ・イオンモールへ行けない
- ・目的地まで時間がかかる
(阿志岐の自宅から市役所⇒65分、
吉木から筑紫病院⇒73分 など)

運行ダイヤ

- ・バスの到着時刻が遅れる
- ・高雄交差点など朝夕渋滞
- ・夕方の便が少ない(御笠自治会バス)

乗降場所

- ・市街でもバス停まで距離がある。
(交通空白地域の存在)

利用者

空車の時間帯・区間がある

(地域の課題)

課題①

公共交通不便地域の解消

課題②

効率的・魅力ある公共交通網の形成

課題③

具体的ニーズに対応した公共交通の充実

課題④

利用環境の整備・改善

課題⑤

公共交通の利用促進

(対策)

【地域・事業者・行政の協働】

- ・時間帯によりデマンドバスの導入
(電話又はアプリで予約)
- ・登録制のデマンドバスの導入
- ・乗降場所を決めた乗合いタクシー

【快適な移動の確保】

- ・ルートの見直し・整備
- ・コミュニティバスのルートの見直し
(イオンモールを含むルート)
- ・位置情報検索サービスの提供
- ・太宰府市との協議(五条駅へのルート確保)
- ・渋滞する交差点に右折レーン、信号の整備を県へ要請

【持続可能な公共交通の実現】

- ・市負担によるタクシー代半額制
- ・年間パスポート(割引)の配付

【筑紫・山家地域】

(実態)

運行ルート

- ・ 出発地と目的地が限定されている
- ・ 西鉄バス営業路線が停止されている
- ・ 運送法の影響で公営路線がひけない
- ・ ルートの外回り・内回りと支線のルート整備を
- ・ 筑紫駅から南方面へのルート整備を
- ・ 原田、美しが丘、光が丘のルート整備を
- ・ バス停や駅までの距離が遠い
- ・ ドアtoドアができれば

高齢者対策

- ・ 免許返納後の移動手段がない
- ・ 高齢者の通院
- ・ 高齢化の進む団地へのバスの乗り入れ

筑豊本線

- ・ 筑豊本線の空列車

(地域の課題)

課題①
公共交通不便地域の解消

課題②
効率的・魅力ある公共交通網の形成

課題③
具体的ニーズに対応した公共交通の充実

課題⑤
公共交通の利用促進

(対策)

【地域・事業者・行政の協働】

- ・ デマンドバスの導入(西鉄・タクシー会社と連携)
- ・ 筑前町との連携

【快適な移動の確保】

- ・ ルートの見直し・整備
- ・ 地域性に沿ったルートの確立

【持続可能な公共交通の実現】

- ・ 高齢者・免許返納者への割引、利用券の補助(タクシーチケット、バス割引の拡充)
- ・ 筑豊本線の再活用、見直し(利用者の調査、研究)

【筑紫南地域】

(実態)

運行ルート

- ・筑紫原田線開通によるコミュニティバスの路線見直しの必要性
- ・「つくし号」がJR原田駅に来ない
- ・美しが丘南から二日市まで乗り継ぎなくいけるように
- ・馬市までバス路線が通っていない
- ・目的別に多様な要望に応じてほしい(病院、コミセンコース、買い物ルート)

運行ダイヤ

- ・カミーリヤを使用した後(約1時間)すぐにバスが来ない(改定前は良かった。)
- ・路線バス・カミーリヤバスの便数が少ない
- ・日中、美しが丘南区内からJR原田駅、西鉄筑紫駅までのバスがない

乗降場所

- ・坂道が多くバス停までの移動がづらい
- ・馬市から最寄りの電車駅まで1キロ以上
- ・バス停にベンチと屋根がない

(地域の課題)

課題①
公共交通不便地域の解消

課題②
効率的・魅力ある公共交通網の形成

課題③
具体的ニーズに対応した公共交通の充実

課題④
利用環境の整備・改善

(対策)

【地域・事業者・行政の協働】

- ・社会福祉協議会・スイミングクラブなどのバスの活用

【快適な移動の確保】

- ・地域のくらしを支える公共交通ネットワークの形成(馬市・西小田)
- ・コミュニティバスの新路線(美しが丘北)の設定
- ・コミュニティバス・カミーリヤバスの一元化
- ・筑紫南地区から二日市へ1本で行ける交通手段の設定
- ・幹線と支線の連携・結合を充実させる
- ・ダイヤの見直し、充実

【快適な利用環境の整備】

- ・バス停留所のベンチ・屋根の新設